

一学校教育目標一

豊かな心をもち

自ら学ぶたくましい子

(1) よく考えねばり強く学ぶ子

(2) 心豊かで思いやりのある子

(3) すすんで体をきたえる元気な子

学校便り

第36号

仲井真っ子

H31年1月7日(月)

那覇市立

仲井真小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3330

二学期後半開始のお話朝会

一「努力」一

本日、二学期後半開始の朝会で「新年おめでとうございます」「おめでとうございます」と挨拶をして、メジャーリーグで活躍している「イチロー選手」の話をした。

まず、「みなさんはどんな夢を持っていますか」と呼びかけたあと、「この写真はどうですか」と、イチロー選手の写真を見せた。「イチローだ」と声をあげた後に、「イチロー選手は、小学校の卒業文集にこんなことを書いているんです」と、次のように話を進めた。

「ぼくの夢は、一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学高校と全国大会に出て、活躍をしなければいけません。活躍するには、練習が必要です。」

ぼくは3才の時から練習をはじめています。3才から7才までは、半年位やっていましたが、3年生の時から今までは、365日中、360日は激しい練習をしています。だから、1週間で友達と遊べる時間は、5から6時間です。」

普通、土日であれば、10時間くらい平気で遊べるのに、彼は、小学生なのに、1週間で5から6時間しか友達と遊べない。そのくらい練習していたんですね。

「そんなに練習をしているのだから、必ず、プロ野球選手になれると思います。」

すでに、その言葉には、自信にあふれていますね。自分になれると・・・。

「そして、中学、高校と活躍し、高校を卒業してからプロ野球に入団するつもりです。球団は中日ドラゴンズか、西武ライオンズです。ドラフト入団で契約金は一億円以上が目標です。」

未来の「目標」なのに、具体的です。その時の様子がよくわかるくらいはつきりとしていますね。実際、入った球団はオリックス・ブレーブスでした。

さらに彼のすごいところは、

「そして、ぼくが一流の選手になったら、お世話になった人に招待券を配って、試合を見に来てもらうのも、ぼくのもうひとつの夢です。」

小学校六年生の彼は、感謝の心を忘れていないです。すごいですね。

イチロー選手は、自分の夢を叶えることができたわけですが、自分の夢をかなえることができたのはなぜだと思いますか。

イチロー選手は、ある雑誌で「好きな言葉は、何ですか」というインタビューを受けました。

そのとき、イチロー選手は、次のようにこたえました。

「継続は力なり」

「これは、ずっと続けていくと力になるよ、力がついてくるよ、そんな意味の言葉です。」と話を終えました。私は、イチロー選手が好きです。なぜなら、「イチロー選手を見ていると、努力は裏切らない、という言葉が信じられるような気がするから」です。